

院内がん登録統計

院内がん登録とは、当院でがんの診断や治療を受けた全患者さんについてがんの診断、治療、予後に関する情報を腫瘍ごとに登録（1腫瘍1登録）しています。診療の向上などを目的とし、がんの診療の把握や分析を行っています。

当院は、平成25年4月より北海道がん診療連携指定病院に指定されており、がん登録実務者（国立がん研究センターの実務者研修を修了し、認定試験に合格した者）が定められた登録項目定義（標準登録様式2016年版）に従い登録を行っています。

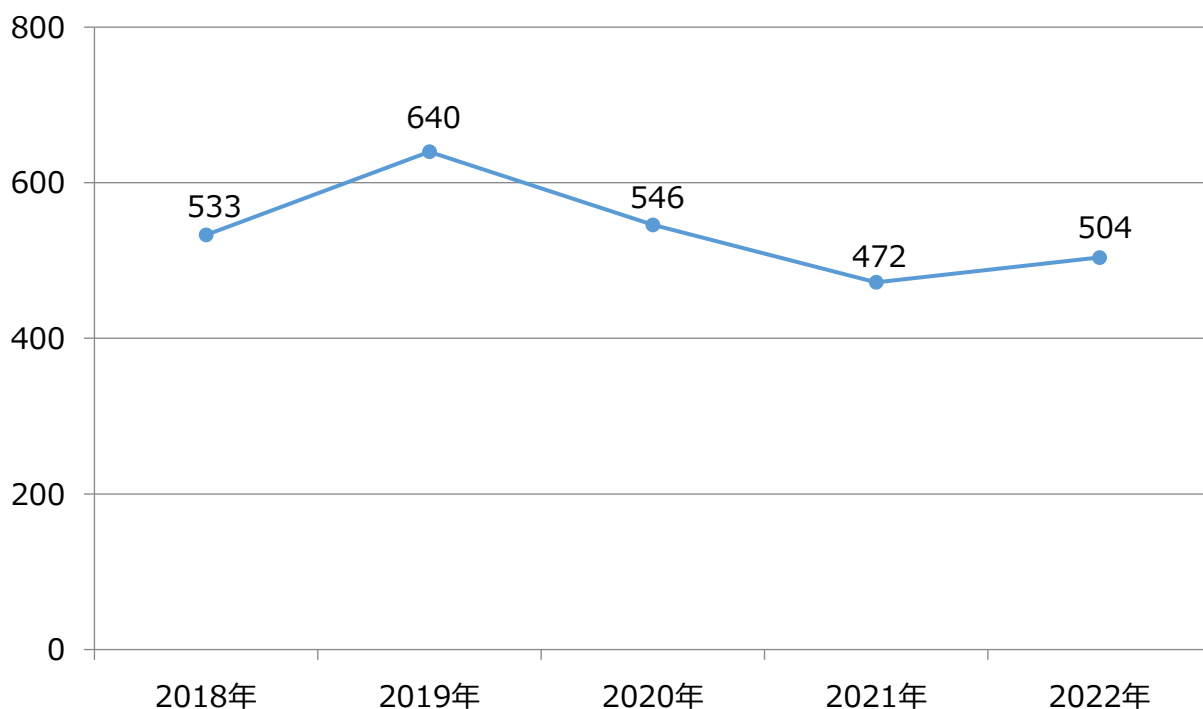
・登録対象となる範囲…

入院・外来を問わず、当院において初回の診断が行われた腫瘍を登録対象とする。

ここでいう初回の診断とは、当院で当該腫瘍に関して初めての、診断及び/又は治療等の診療行為のことを指す。

なお、がん登録でいう診断には、病理学的な確定診断だけでなく、画像診断、血液検査、尿検査、肉眼的診断および臨床診断などによる診断を含む。

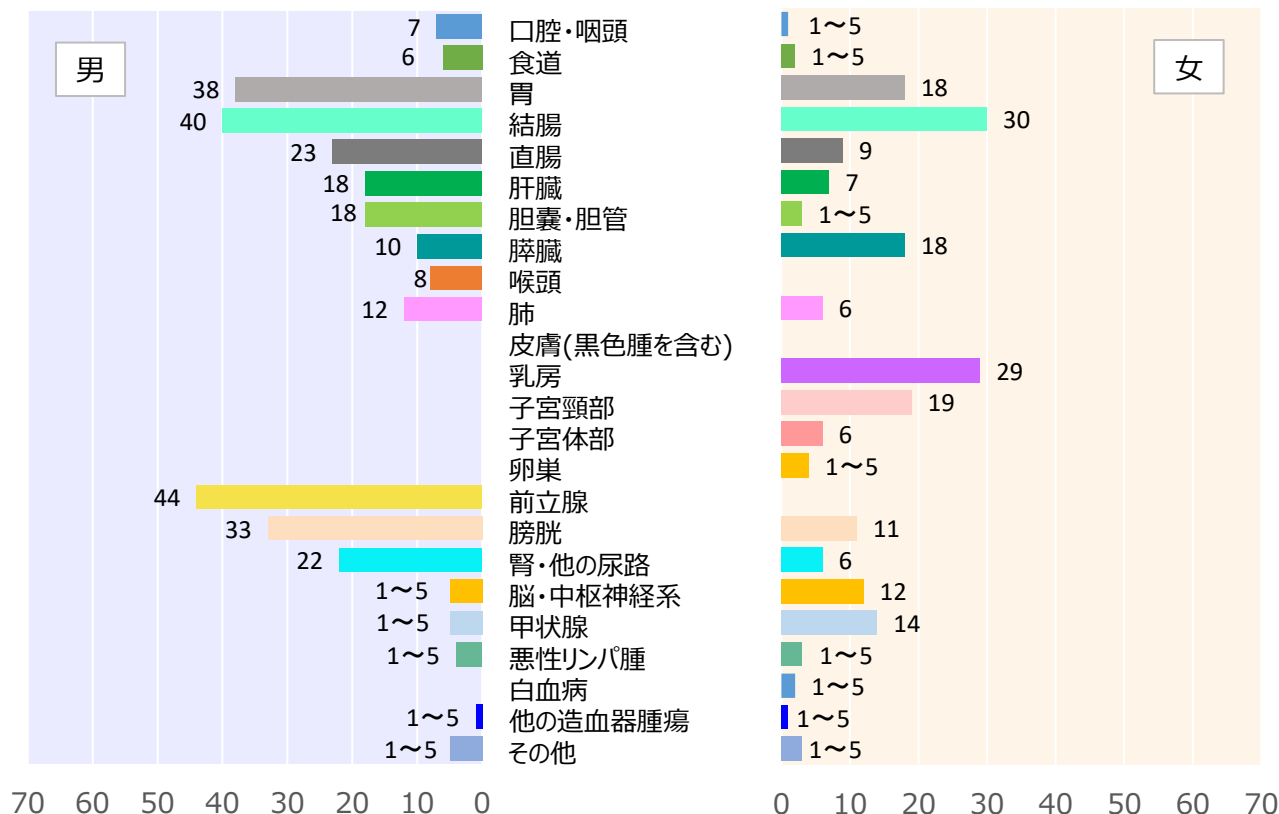
年次別登録症例数2018年から2022年



2022年 部位別・性別 登録件数

※登録数が5件未満の症例は個人情報の特定を防ぐため（1～5）としている。

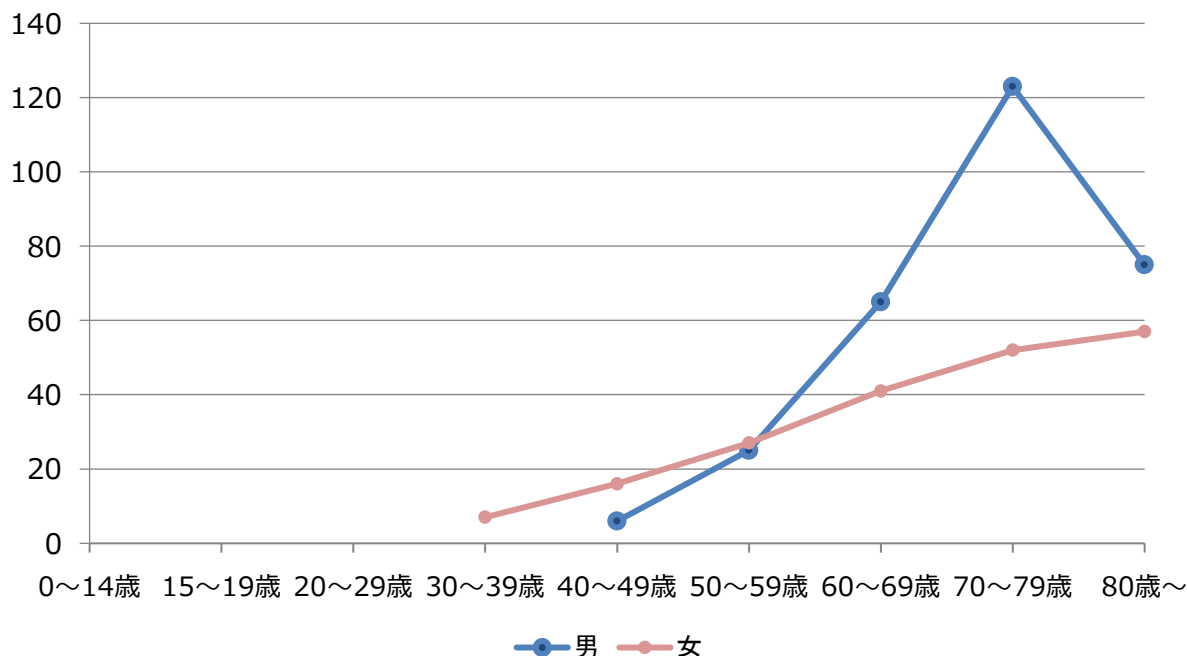
- ・多くの部位、特に膀胱、肝臓、直腸などで男性が女性より多い。
- ・甲状腺では男性より女性が多い。



2022年 年齢階層別・性別 登録件数

※登録数が5件未満の症例は個人情報の特定を防ぐため非表示としている。

- ・男女とも60歳代から増加する。
- ・50歳代までは女性が男性よりやや多く、60歳代以降は男性が女性より顕著に多い。



2022年

部位別・年齢階層別 登録件数

※登録数が5件未満10件未満の症例は個人情報の特定を防ぐため（1～5）（6～10）としている。

	0～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳～	合計
口腔・咽頭							1～5	1～5	1～5	6～10
食道						1～5	1～5	1～5	1～5	6～10
胃					1～5	1～5	6～10	29	17	56
結腸					1～5	14	15	14	26	70
直腸						1～5	11	6～10	6～10	32
肝臓						1～5	6～10	13	1～5	25
胆嚢・胆管							1～5	6～10	11	21
膵臓					1～5	1～5	1～5	6～10	6～10	28
喉頭						1～5	1～5	1～5	1～5	6～10
肺					1～5		1～5	6～10	6～10	18
皮膚(黒色腫を含む)										
乳房				1～5	1～5	1～5	6～10	6～10	1～5	29
子宮頸部			1～5	1～5	6～10	1～5		1～5	1～5	19
子宮体部					1～5	1～5		1～5		6～10
卵巣						1～5	1～5		1～5	1～5
前立腺						1～5	12	21	6～10	44
膀胱					1～5	1～5	6～10	15	17	44
腎・他の尿路				1～5		1～5	6～10	11	1～5	28
脳・中枢神経系						1～5	1～5	6～10		17
甲状腺			1～5	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5	1～5	19
悪性リンパ腫	1～5					1～5		1～5	1～5	6～10
多発性骨髄腫							1～5			1～5
白血病							1～5		1～5	1～5
他の造血器腫瘍								1～5	1～5	1～5
その他		1～5			1～5		1～5	1～5	1～5	6～10
合計	1～5	1～5	1～5	6～10	22	52	106	175	132	504

2022年

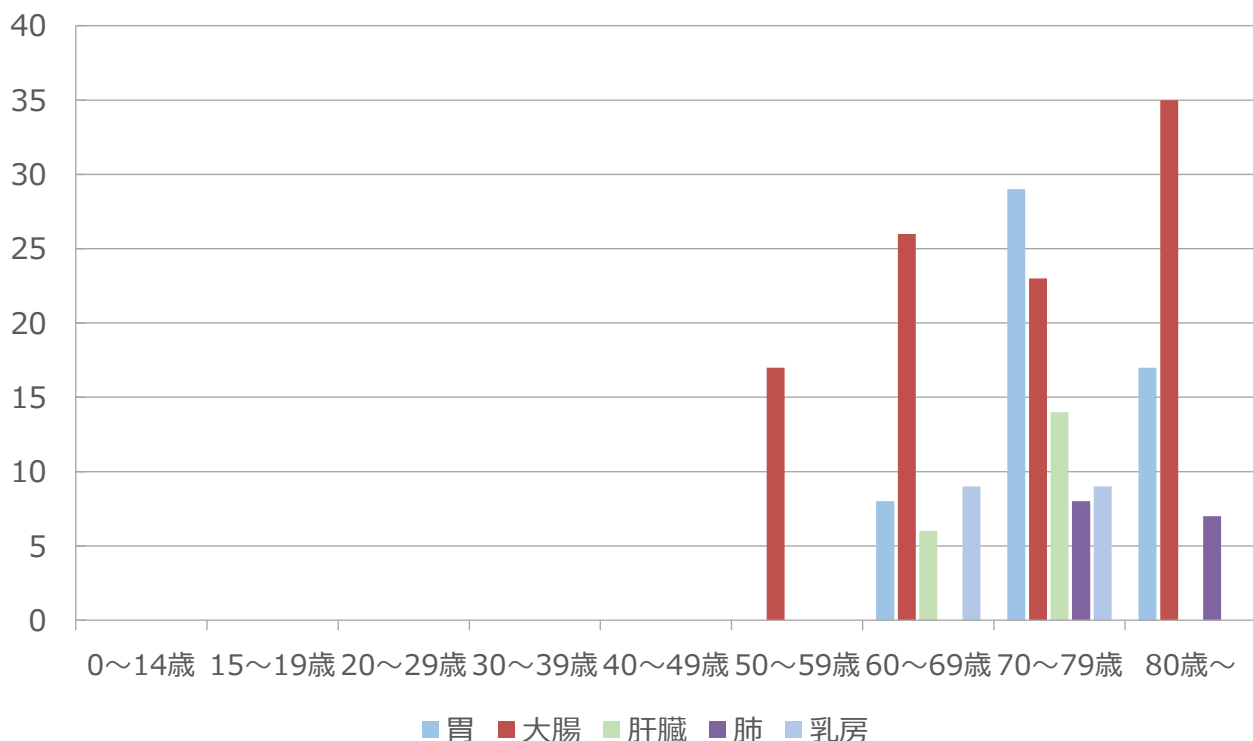
5大がん 年齢階層別・性別 登録件数

※登録数が5件未満10件未満の症例は個人情報の特定を防ぐため（1～5）（6～10）としている。

- ・胃がん、大腸がん、肝がん、肺がん、乳がんを主要5大がんとしている。
- ・大腸がんは、結腸がんと直腸がんを合わせたものである。

		0～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳～	合計 (性別)	合計
胃	男					1～5	1～5	1～5	21	6～10	38	56
	女							1～5	6～10	6～10	18	
大腸	男						12	19	16	16	63	102
	女					1～5	1～5	6～10	6～10	19	39	
肝臓	男						1～5	1～5	11	1～5	19	26
	女						1～5	1～5	1～5	1～5	6～10	
肺	男					1～5			6～10	1～5	12	18
	女							1～5	1～5	1～5	6～10	
乳房	男											29
	女				1～5	1～5	1～5	6～10	6～10	1～5	29	
合計					1～5	1～5	25	51	83	66		231

※登録数が男女合わせて5件未満の症例は個人情報の特定を防ぐため非表示としている。



2022年 来院経路別登録数

・がん患者がどのようにして当院を選択し受診したのか（他施設からの紹介など）を把握。

他施設からの紹介の“他施設”には、検診機関や老人保健施設なども含まれる。

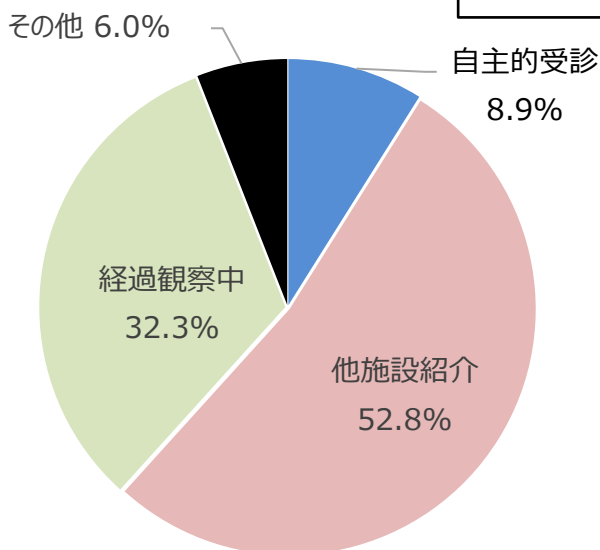
紹介状を持参して受診した場合

- ・「宛名が当院」の場合、紹介者（医師等）が当院への受診を選択したと考え、「他施設からの紹介」とする。
- ・「宛名が無記名または他施設」の場合、患者が当院への受診を選択したと考え、「自主的受診」とする。

自主的受診	がん患者が、他施設の紹介等ではなく、当該腫瘍や何らかの自覚症状によって自主的に当院を選択して受診した場合。
他施設からの紹介	自覚症状により他施設を受診し、がんの診断を受け当院に紹介された場合。がん検診、健康診断および人間ドック等の結果により他施設を受診し、当院に紹介された場合。
経過観察中	当院で他疾患による経過観察中に、がんと診断あるいはがんが疑われた場合。
その他	上記に当てはまらないもの。剖検（死体解剖）によって当該腫瘍が初めて発見された場合も含む。
不明	がん患者が当院を選択し受診した発端が不明の場合。

	自主的受診	他施設からの紹介	経過観察中	その他
2022年	45	266	163	30

※登録数が5件未満の症例は個人情報の特定を防ぐため（1～5）としている。



総登録件数に対する割合 (%)

2022年 症例区分

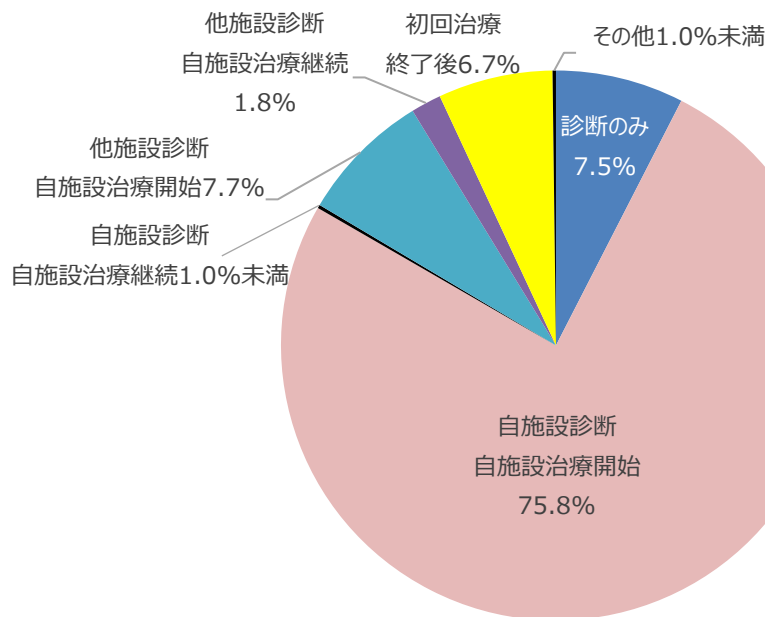
・当該腫瘍の診断および初回治療の過程に、当院がどのように関わったかを判断するための区分。

初回治療の定義（概要）

初回治療は、診療計画等に記載された腫瘍の縮小・切除を目的とした治療（手術や抗がん剤治療等）をし、病状が進行/再発したりするまでに、あるいはおよそ4か月以内に施行された治療を初回治療とする。治療前に死亡された場合は経過観察（腫瘍に対する治療を行わない）という行為を初回治療とする。

診断のみ	当院で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介または依頼した場合。
自施設診断・自施設初回治療開始	当院で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合。
自施設診断・自施設初回治療継続	当院で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、当院で初回治療の一部を実施した場合。
他施設診断・自施設初回治療開始	他施設で診断された後、当院を受診し当院で腫瘍そのものへの治療を開始した場合。
他施設診断・自施設初回治療継続	他施設で診断された後、他施設で初回治療が開始され、その後、当院を受診し初回治療の一部を実施した場合。
初回治療終了後	他施設で初回治療終了後に当院を受診した場合。
その他	上記のいずれにも分類できない場合。 他施設診断で治療目的に紹介されたが、当院では治療は行わず他施設へ紹介または依頼した場合も含む。

	診断のみ	自施設診断 自施設治療	自施設診断 自施設継続	他施設診断 自施設治療	他施設診断 自施設継続	初回治療 終了後	その他
2022年	38	382	1~5	39	6~10	34	1~5



※登録数が5件未満の症例は個人情報の特定を防ぐため（1~5）としている。

総登録件数に対する割合 (%)